
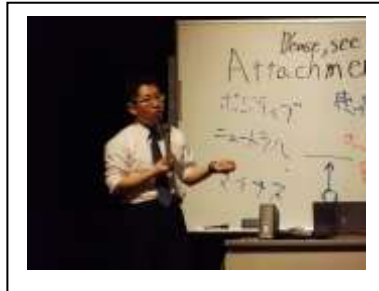


事業報告書

第5回相談員研修 アタッチメント（愛着）の基礎と支援

日時	平成30年3月15日（木）14:00～16:00
目的	アタッチメントとは何か、必要な支援とは何かを学ぶと共に、愛着という視点から、親子のきずなや児童・青年・成人の本質に迫る専門家の話を聞くことで、今後の相談業務に役立てること、延いてはより充実した社会資源づくりに寄与することを目指すもの。
対象	男女共同参画関係機関相談員及び、県・市町村・支援機関の相談業務に携わる方、関心のある方
主催	沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団
講師	琉球大学 教育学部 准教授 中尾 達馬氏
会場	沖縄県男女共同参画センター「ているる」1F ホール
定員	80名（申込者数：119名）
参加者	98名（女性86名・男性12名）
講演内容 (概要)	<p>自らも1歳児の父親である講師は、アタッチメントの話は、テニスの素振りと同じでくり返し聞くことでようやく身につくものであるとしながら、自分自身のエピソードを交え、楽しく判りやすく講演を行った。</p> <p>●アタッチメント（愛着）とは？</p> <p>講師は、子どもは不安や恐れを感じた時に人にくっつく傾向があり、その時、大人がしっかり受け止めて送り出すことを何度もくりかえすことで信頼関係が生まれアタッチメントが形成されること、また、アタッチメントは不安や恐れを感じた時の子どものマイナス感情をニュートラルに戻すことなどを紹介した。</p> <p>他にも受講者にとって目からウロコのアタッチメント関連情報を多数紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメントは「依存」と似ている様であるが「依存」は「自立」と矛盾し、アタッチメントは「自立」と矛盾しない。 ・愛情はビタミンと同じで過ぎると良いことはない。 ・アタッチメントは快感情の共有ではなく不安や恐れを取り除くことで形成される。等 <p>●アタッチメントを応用した支援</p> <p>講師自ら認定講師の資格を持つ「安心感の輪（Circle of Security）」の子育てプログラムの紹介及び「安心感の輪」のイメージ図を解説。</p> <p>支援者は子どもの欲求に目を向けてよりそうことが大切であるが、うまくいかない時は自分の中で「シャークミュージック」が流れていると認識すること、また、どのような時に流れるのかを知っておくことが大切と説いた。</p> <p>また、支援者は完璧ではなく「三割バッター」を目指せば良いこと、「甘え」と思える行動は「何を言いたいのだろう」と捉えると良いこと、1年間は粘って欲しいなどのポイントも紹介し、受講者は熱心に聞き入っていた。</p>
参加者の声	<p>(自由記載欄より抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変わかりやすく、実践に生かせることが多く、勉強になりました。ひとり親の方と一緒に聞きたいなと思いました。 ・先生の説明で関わる事の重要なこと、方法を知ることができ、大変勉強になりました。 ・アタッチメントの支援法もスモールステップであせらず一つ一つ支援する事が大切とあらためて学びました。 ・アタッチメント理解度チェックには驚きました。親子に関わる機会ばかりですが、子育ての経験もなく相談員として難しい点がいくつかあるので、今日のお話しや安心感の輪を思い出して頑張ろうと思いました。
写真	  
	<p>中尾 達馬氏</p> <p>講座風景</p>